

[QM] Project運用のManagement

概要

見せてもらったプロセスフロー(案)からの理解したこととして、PJ立ち上げ時に4段階に難易度を分けて、レベル別にプロセスフロー(というより、ゲート基準およびRASIC定義と受け取った)を設定。

Memo

1. 分類の結果、高レベルな案件については技術フェロー(仮)的な立場のサポートを密にする(ルール化)
2. 進捗会をどうするかについて...検討中。(これまでのPJ進捗の会議体の意義として)全プロジェクト案件に対してのガバナンス的側面があった。
3. 技術部の縦割りで閉じている情報の共有手段(技術的な解決策や、文書化などのプロセス、外注管理など、やはりドメインごと共通言語が異なることが壁になる。マネジメント的にはそこまで分かれることはないと思うが)
4. 基本ルールの策定を5月ごろに提示。PLのミッションとフェローのミッション(RASICで定義しておくのが良いのでは)

意見

1. (既出)フェローが技術本部から，となっていたがこれは社内の該当分野の知識を有する人間から選出できると良いと思う．
2. 視座を広げる意味で，上記をPLの所属部外から選出できれば良いのだが．形式的な運用にならない様に注意が必要(な予感)．
3. 適切な理由があれば，運用レベルを1段階上下に移せるようにする提案．(例えば，PMの経験が少ない，期日がタイト，技術的難易度が難しいなどの理由を想定．予めそれぞれに応じてレベル分けの基準を整備するのは困難なので，柔軟に対応する余地を用意)
4. Pjの予算消化については，月単位で確定しているので把握されているはずなので重要とは考えないが，対してアーンドバリュ的な報告が必要(成果物(または見積WBS)に紐付いた進捗の数値表現をルール化するなど)．

(仮)RASIC案

- RASIC定義(R:実行責任, A:説明責任, S:サポート, I:報告先, C:協業先)
- 要求レベルが高めのもの(説明中にあった○や◎相当)に対するイメージ

ロール\プロセス	見積・計画	進行中	DR	成果納入	案件振返り
PL/PM	R,A	R,I	R,A	R	(R)
メンバ	S,C	R,A	R	S	A,S
スキルフェロー	S,I	S,C	S,I	S	A,S
技術本部	S,I	S	S,I	I	(R),I
営業(顧客窓口)	A,S	-	-	A	-